

くらし・福祉・平和

香川やすのりの提案

- 18歳までの医療費無料化（所得制限と自己負担の撤廃）。
- 学校給食の無料化。
- 高すぎる国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料の引き下げ。
- 多摩北部医療センターに産科・NICU（新生児集中治療室）・小児外科の新設と、障がい者・高齢者医療の充実。
- 松山出張所の存続。
- ひまわり通りの歩道の改善。清瀬駅にホームドア、南口にエスカレーターの設置。
- 米軍大和田基地の撤去。米軍ヘリコプターの夜間訓練中止。



市議会本会議場で一般質問

プロフィール

- ◆1976年西東京市生まれ。
- ◆都立東村山西高校卒業。高校では水泳部の部長。
- ◆17年間ガソリンスタンドに勤務、自動車整備士。保険会社に勤務後、障がい者施設に勤務。
- ◆2019年清瀬市議会議員に初当選。現在、総務文教委員。
- ◆趣味は、水泳、ドライブ。
- ◆家族は、妻（看護師）、三男（19歳・双子、14歳）、一女（17歳）。猫（1匹）。犬（2匹）。



消費税減税、インボイス中止、軍事費2倍化NO、憲法守れ

日本共産党

活動地域

松山1・2・3丁目／上清戸1丁目
中清戸1・3・5丁目／下清戸1・3丁目

日本共産党

清瀬市議会議員

やすのり香川



誰もが個人として 尊重される社会を

わたしは4人の子どもの父親です。息子には障がいがあり、車いす生活を送っています。そのため、乗り場の狭いバス停や、傾斜や段差のある歩道に危険と不便を感じます。これは高齢者や子どもも同じです。

2019年に初めて市議会に送っていただき、「誰もが個人として尊重される社会」を原点に取り組んできました。引き続き、安心して安全に暮らしやすいまちを実現するためがんばります。

香川やすのり



ホームページ
<https://www3.jcp-tokyo.net/kagawa/>



ツイッター
@YasunoriKagawa

清瀬新聞

2023年2月号外 発行／金丸一孝 清瀬市元町2-4-4 日本共産党清瀬市委員会の見解を紹介します。

社会のバリアを このまちからなくしていく

香川 やすのり

日本共産党

清瀬市議会議員



常に市民の立場でがんばる人

日本共産党都議会議員 原 のり子

やさしく、自然体の香川さん。常に市民の立場で、米軍大和田通信基地や障がい福祉など、都政にも関わる大事な問題を提起してくれる、かけがえのない人です。

徹底した調査でまちづくりに取り組む人

アニメーション映画監督 有原 誠治

香川さんは、ひまわり通りの歩道を障がい者や誰でも安全に通行できるようにするため、細かく調査して具体的に清瀬市に改善を迫っている大切な人です

香川さんに期待します

『みどりの寺子屋』代表 緑川 慎吾

未来を担うすべての子どもたちのために、がんばりましょう！

信頼できる人

障がい者施設職員 相川 知雄

障がいのある人の支援の仕事をした仲間としてさらには人間として香川さんを応援します。

ゴミ袋四カ月分無料に
また、コロナ禍の生活支援として、ゴミ袋の四カ月相当分の無料配布、下水道料金の免除なども実現しました。

ワクチン予約支援等が充実
こうした取り組みで、ワクチン予約の支援体制の充実、PCR検査センターの設置、臨時医療施設の設置、自宅療養者への食料等支援などが実現しました。



清瀬市への申し入れ

市民の願いを実現

危険なバス停 改善！

「清瀬駅北口ゆき『気象衛星センター』バス停は車道にあり危険。何とかしてほしい」と相談があり、香川市議は繰り返し議会では繰り返し、市が土地を購入してバス停を拡幅することが実現しました。



障がい者支援はライフワーク 特別支援学級 増えた！

「特別支援学級の対象となる子どもは増えているのに、学級の新設・増設が遅れている」と障がい者施設の人から訴えがありました。香川市議は初議会から二〇二二年第四回定例会まで十回一般質問を行なったうち、六回の一般質問の中で特別支援学級を取り上げ、新設・増設を実現しました。



多摩北部医療センターに産科・NICU（新生児集中治療室）新設などを東京都と都立病院機構に要請

命と暮らしを守る市政へ 日本共産党市議団

▶悪政の防波堤

清瀬市議会では、市民の願いにそむく市長提案にも、自・公だけでなく国政野党まで賛成しています。日本共産党市議団は、国民健康保険税の値上げにキッパリ反対。「悪政の防波堤」の役割を発揮しています。

▶建設的提案

日本共産党市議団は、市民の声をまっすぐに届け、「予算組み替え案」も示し、暮らしを守る施策を粘り強く提案。新型コロナ対策でも、市に17回の申し入れをおこない、検査と医療の体制強化を実現。